

## 【お知らせ】日本獣医生命科学大学附属博物館が 「登録博物館」として新規登録されました

日本獣医生命科学大学附属博物館は平成27年4月に「日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム」として開館しました。令和5年4月に現在の名称に改称し、本学の歴史と獣医・畜産・生命科学の総合博物館をコンセプトに掲げて活動を続けています。

昭和26年に制定された博物館法では、地方公共団体や財団法人、宗教法人などが設置した施設だけが博物館として登録を受けることができ、学校法人日本医科大学が設置者である当館は、博物館としての登録・指定を受けていない「博物館類似施設」として活動を続けていました。令和4年4月に「博物館法の一部を改正する法律」が成立し、令和5年4月1日から新たな博物館登録制度に移行したことで、学校法人が設置する施設を含め、あらゆる設置法人(国と独立行政法人を除く)の博物館が登録の対象となりました。

当館は昨年の夏から改正博物館法に基づいた登録に向けて準備を始め、東京都教育委員会による審査を経て3月31日付けで「登録博物館」として新規登録されました。

今年度は博物館登録を記念した特別解説の実施も検討しています。これからの当館の活動にご注目ください。

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #登録博物館

## 【お知らせ】本学教員の所蔵するニホンオオカミの根付について

本学獣医学部獣医保健看護学科の吉村久志准教授(獣医保健看護学科 応用部門 病態病理学研究分野)らによる調査により、ニホンオオカミの遺物(上顎吻端部を用いた根付)が発見され、国立科学博物館の特別展「古代DNA ー日本人の来た道ー」にて展示されることとなりました。

吉村准教授らは兵庫県内の旧家に保管されていた根付を入手し、形態学および画像診断学的に解析するとともに、総合研究大学院大学の寺井洋平准教授がミトコンドリアDNAの解析を行った結果、ニホンオオカミである可能性が非常に高いことが証明されました。

この根付はニホンオオカミの遺伝学的研究を進める上で非常に貴重な事例となるため、国立科学博物館の特別展における展示物の1つとして活用されることとなりました。ニホンオオカミの実物標本を見られるこのチャンスに、ぜひ国立科学博物館まで足をお運びください。

※ニホンオオカミの根付は当館ではご覧いただけませんのでご注意ください。

#日本獣医生命科学大学 #国立科学博物館 #ニホンオオカミ

### ■特別展「古代DNAー日本人の来た道」

<https://ancientdna2025.jp/>

企画趣旨や会期、アクセス、入場料など詳細がご覧いただけます

■大学プレスセンター：日本獣医生命科学大学の吉村久志准教授らによる調査で新たに発見されたニホンオオカミの遺物(上顎吻端部を用いた根付)が、国立科学博物館の特別展「古代DNAー日本人のきた道ー」で展示されます。

<https://www.u-presscenter.jp/article/post-55669.html>

本件のプレスリリースはこちらでご確認いただけます



① 今回展示されるニホンオオカミの根付 その1

② 今回展示されるニホンオオカミの根付 その2

## 【資料紹介 20】日本獣医畜産大学学帽

本日は、前梶ヶ谷館長時代に博物館に寄贈いただいた資料の中から本学の「学帽」を紹介いたします。

現在本学では制服や制帽などの指定はありませんが、以前は制帽として本学オリジナルの学帽があり、多くの学生が被っていたことは過去の卒業アルバムの写真などから分かっています。

色は顎紐と庇部分を含めて全体が黒、正面前側にある帽章と顎紐の両端にある耳章が金のシンプルなカラーリングです。帽章は、本学の以前の校章がデザインされていて、これと同じデザインのものが一号棟の正面にも飾られています。耳章は、帽章と似ていますが少しだけ異なり、本学の古い校章ではありませんが、校章と同じく大学という言葉デザインしているものになっています。

こちらの制帽が写っている過去の卒業アルバムでは、制服を着ている学生もたくさん写っています。またさらに古い日本獣医学校時代の卒業アルバムでは、異なる帽章のついた制帽の写真も掲載されており、本学の長い歴史の中で、いくつかの制帽が使われていたようです。

これらの古い制服や制帽の情報や実物をお持ちの方、またその他の大学の記念品やグッズなどについて写真や実物をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ博物館までお声がけください。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #大学史

〈資料詳細情報〉

[名称]日本獣医畜産大学学帽

[制作年]昭和33年(1958年)頃

[製作者]不明

[サイズ]250×210×100(縦×横×高さ mm)

※昭和33年(1958年)入学の卒業生より受贈



- ① 正面
- ② 横
- ③ 帽章 一号棟の正面と同じ校章がデザインされています
- ④ 耳章
- ⑤ 日本獣医畜産専門学校の卒業生による記念写真。多くの学生が学帽をかぶり、制服を着ている様子がわかります。この時代はすでに学校自体は日本獣医畜産大学として認可されており、日本獣医畜産専門学校時代に入学者たちも大学の学帽を被っていたようです。  
画像出典：日本獣医畜産専門学校 専門第11期生(1951)卒業アルバム。
- ⑥ 一号棟正面

## 【活動日誌237】令和7年度入学式

本日は本学の令和7年度の入学式となります。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。博物館スタッフ一同、心からお祝いを申し上げます。

通常当館の見学には事前の予約が必要ですが、本日は新入生の皆様や保護者の皆様にご見学いただけるように特別開館しております。展示室は大学正門の正面にある赤い屋根の建物の中にあり、入学式にご列席された方であれば、どなたでも自由に展示をご覧いただけます。

2階の自然系展示室では、現在特別展「NVLU 奄美プロジェクト - 研究・保全・そして未来 -」を開催しており、本学獣医学部獣医保健看護学科の病態病理学研究分野が取り組んでいる奄美大島の動物たちを対象とした研究プロジェクトの内容を紹介しています。大学生活の第一歩として、本学が取り組む最先端の研究の内容を学んでみてはいかがでしょうか？

入学式は昼過ぎに終了する予定ですが、博物館は17:00まで開館しております。皆様のご来館をお待ちしております。

# 日本獣医生命科学大学 # 博物館 # 入学式



- ① 中庭の桜も満開です
- ② 展示室紹介①：定期交換展示室(1階)  
博物館が活動拠点とする1号棟に関するミニ展示を実施しています
- ③ 展示室紹介②：歴史系展示室(2階)  
本学の歴史に関する展示を実施しています
- ④ 展示室紹介③：自然系展示室(2階)  
里山の野生動物の剥製を展示すると同時に特別展を開催しています

## 【活動日誌238】武蔵野ふるさと歴史館との打ち合わせ

当館では社会連携活動の一環として武蔵野ふるさと歴史館と連携した教育普及活動を行っています。先日は今年度の活動についての打ち合わせのために、武蔵野ふるさと歴史館の皆さんが当館まで来てくださいました。

これまでの連携事業では、動物の足や野鳥の羽などをテーマに、野生動物に関連したワークショップを実施していましたが、今年度は大学の施設見学を含んだ内容にすることを検討しています。対象者は地域の小学生を予定しているため、子どもたちに本学の特色を伝えるにはどこを見てもらうのがよいのか、博物館の見どころはどこを紹介すべきか、館内を巡りながら具体的な案を出し合いました。

イベントは今年の夏頃の開催を予定しています。詳細が決まりましたら武蔵野ふるさと歴史館や当館のwebサイト等で情報を発信しますので、興味のある方はチェックしてください。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動報告】「武蔵野動物観察隊3 どここの羽？どんな羽？」に講師として参加しました

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20221201-01.html/>

2022年のイベントの様子を紹介しています

■【活動報告】「武蔵野動物観察隊4 野鳥の羽でグッズ作り」に講師として参加しました

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231206-01.html/>

2023年のイベントの様子を紹介しています



- ① 自然系展示室を見学する様子。歴史館の皆様には現在の展示を紹介しましたが、イベントを実施する夏には新しい展示が始まっている予定です。
- ② 収蔵庫を見学する様子。収蔵庫を見学コースにいれることができないか検討中です。
- ③ 以前実施したイベントの様子。このときは博物館を離れ、井の頭自然文化園を会場としました。

## 【活動日誌239】2025年度新入生歓迎会に協力しました

4月10日に実施された2025年度の新入生歓迎会では、新入生のみなさんに短い時間ですが博物館を見ていただく「博物館ツアー」を実施していただくことになり、博物館スタッフも解説等でご協力させていただきました。

博物館見学ツアーでは、残念ながら展示室は自然系展示室の1部屋だけしか見ていただく時間はなかったのですが、大学の歴史や博物館の入っている建物である一号棟、当館が誇るキリン「長次郎」の標本、そして博物館そのものについて簡単な解説をさせていただきました。

解説では当日実施されたクイズの回答をちりばめていたのですが、新入生のみなさんは無事クイズに答えられたでしょうか？

春から新入生となられたみなさんは、これからは開館中ならいつでも博物館をご見学いただけます。じっくりと見られなかった特別展や歴史系展示室にも、ぜひ日を改めて足を運んでいただきたいと思います。

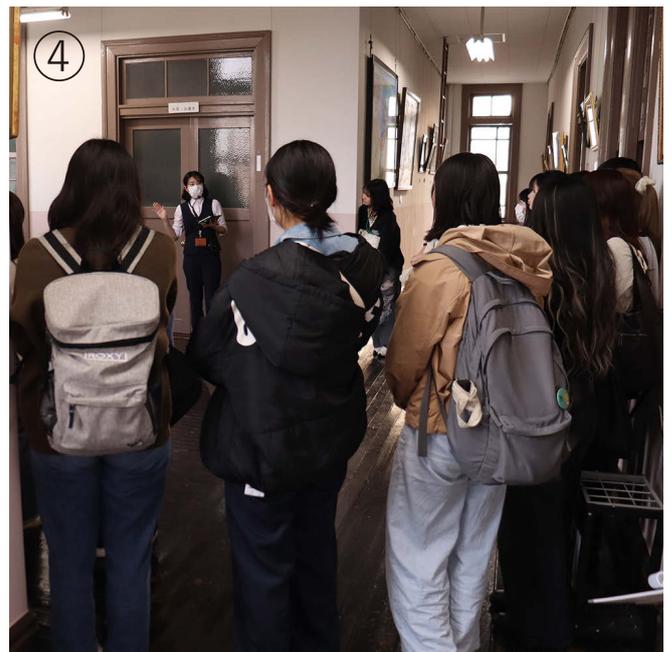
(学芸員 廣瀬)

#新歓 #日本獣医生命科学大学 #博物館

### ■【活動日誌227】2025年度新入生歓迎イベントの準備が始まりました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid04wczAfMMXshTXHfP3UvYK5F2CtwjbDhYDCf5ZTT1qt9KcZ9JS853wekrQthE1aP9I>

新入生歓迎会の準備は昨年12月から始まっていました。詳しくは記事をご参照ください。



- ① 列になって一号棟に入っていく新入生のみなさん
- ② 自然系展示室の見学の様子
- ③ 新入生歓迎実行委員が、一号棟の南階段でこの建物の魅力の一つである「人研ぎ」の石の解説をしてくれている様子
- ④ 学芸員が2階の廊下で大学の歴史や博物館について紹介している様子

## 【活動日誌240】学芸員課程実務実習説明会

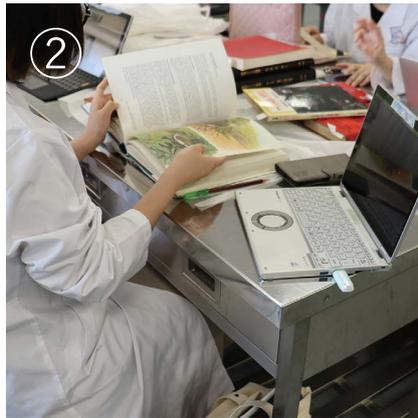
新年度が始まり、静かだった学内が活気を取り戻しています。先日は学芸員課程を履修している新3・4年生に向け、新学期から始まる学内実習(実務実習)の説明会を開催しました。

学芸員の資格を取得するために必要な博物館実習は、学内の施設で行う「学内実習(見学実習・実務実習)」と学外の施設で行う「館園実習」の2つに分かれています。新3・4年生は昨年度の時点で見学実習が終了しているため、今年度は実務実習を受けてもらいます。

説明会では昨年度の振り返りとして実習全体の構成を確認し、これから始まる実務実習の注意事項を説明しました。毎年恒例となりましたが、これから始まる実習の様子はfacebookにて紹介していきますので、どうぞお楽しみ！

(学芸員 石井)

# 博物館実習 # 日本獣医生命科学大学 # 博物館



- ① 説明会の様子
- ② 博物館資料保存論を担当していただいている非常勤講師の奥田環先生による、昨年度の実務実習の様子。今年度も初回の実務実習を奥田先生にご担当いただく予定です。

## 【イベント情報】博物館登録記念！ 国際博物館の日に特別解説を実施します

当館は令和7年3月31日付けで改正博物館法による「登録博物館」として新規登録されました。これを記念して、国際博物館の日である5月18日に開催される本学のオープンキャンパスにて、特別解説を実施します。

当日は、当館学芸員が博物館の登録の報告と博物館の活動紹介を、本学獣医保健看護学科病態病理学研究分野の教員が現在実施中の特別展「NVLU 奄美プロジェクト - 研究・保全・そして未来 -」に関連した解説を、それぞれ実施する予定となっています。詳細は5月上旬にアップされる予定ですのでどうぞお楽しみに！

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #登録博物館 #国際博物館の日  
#InternationalMuseumDay #IMD2025

〈日本獣医生命科学大学オープンキャンパス 博物館登録記念特別解説〉

【日時】2025年5月18日

【内容】特別解説①：学芸員による活動紹介

特別解説②：獣医保健看護学科 病態病理学研究分野による特別展解説

【URL】<https://www.nvlu.ac.jp/nichijyunavi/news/20250518-01>

※イベント当日は予約なしで博物館の見学が可能です

※ 特別解説の参加にはオープンキャンパスへのお申し込みが必須となります  
(5月上旬以降申込受付開始予定)

■【お知らせ】日本獣医生命科学大学附属博物館が「登録博物館」として新規登録されました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0P95q2HYe7od7ixWqmEtbuHnu8HcNDZRmkRGaa3sU3NTm5CbejMYxz94TZRn6jgmal>

博物館の登録についての詳細はこちらをご参照ください。

## 【活動日誌241】アシカ類骨格標本の調査 その2

3月13日の記事にて紹介させていただきました、博物館でお預かりしている「アシカ」の骨格標本の調査について、続報をお知らせします。前回の記事では、博物館が現在お預かりしている寄贈予定のアシカの骨格標本の頭蓋骨について数枚の写真を撮影し、国立科学博物館の甲能直樹博士を通じて東京大学大学院新領域創成科学研究科の甲能純子博士に写真を見ていただき、アシカ科の哺乳類の胎児である可能性が高いことがわかったところまでご報告しました。

先日両博士が博物館にお越しくださり、アシカの骨格標本が入っていた袋にあるすべての骨を実際に見ていただきました。

袋の中には頭蓋骨以外にも目立つ骨として大腿骨や肩甲骨などが入っていることはわかっていましたが、他にどんな骨があるかを確認するために、骨を頭から尻尾に向けて順に並べて配置しました。その結果、前肢・後肢ともに指の末節骨を含むほぼすべての骨が揃っていることがわかりました。

また、頭蓋骨や歯の特徴からやはりアシカ科の哺乳類で、乳歯列がほぼ残っていることから胎児であること、また臼歯の形からトドとキタオットセイでないため、ニホンアシカかカリフォルニアアシカの可能性が高い(この標本が取得された経緯等の記録がないため、南半球に生息するアシカ科の鰭脚類の可能性も残されている)ことなどがはっきりしました。

この骨格標本の犬歯は乳歯ですが、永久歯であれば、ニホンアシカとカリフォルニアアシカでは犬歯の大きさが明らかに異なることがわかっています。頭蓋骨の癒合の度合や大きさからこの個体は生まれる直前の胎児であると考えられ、頭蓋骨の中に犬歯の永久歯が形成されている可能性があるため、種の判別のために頭蓋骨のCTスキャンを行うこととなりました。

CTスキャンの結果についてはまた改めてご報告したいと思います。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #アシカ

### ■【活動報告235】アシカ類骨格標本の調査 その1

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0aGBmWWCxdwcyk1pE9Sym1A9LRgbkEXenYSXgseYPdVXoLUvc33fqeD8rro9uunBLI>

このアシカの骨格の調査の経緯等を紹介しています



- ① 頭蓋骨の歯についてご説明いただいている様子。頭蓋骨に下顎骨がくっついた状態で固まっているため、ひっくり返した状態にしないと歯の全体が見られません。
- ② 肋骨の骨を並べている様子。形や大きさなどから何番目の肋骨かを確認めつつ並べました。
- ③ 頭蓋骨を横から撮影した物。アシカの仲間は、母親の胎内にいる間に乳歯が生え揃った上で、出産前に胎内で乳歯が脱落してから生まれてきます。
- ④ 頭蓋骨を横にして下顎側から上顎の歯の様子を撮影した物。写真を見ると乳歯の内側にまだ顔を出したばかりの永久歯が確認できます。

## 【活動日誌242】キリン「長次郎」に関する講演を行いました

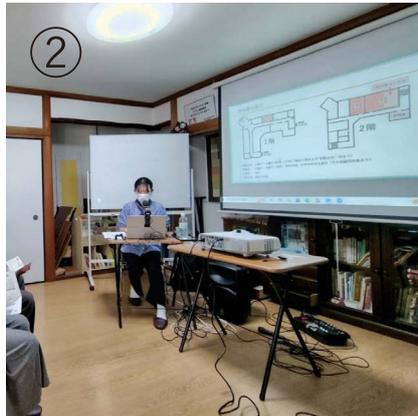
おむすびハウス三鷹にて、当館学芸員石井がキリン「長次郎」に関する講演を行いました。「おむすびハウス三鷹」は、空き家をリフォームし「人と人とをむすぶ地域の居場所」として活動をしている団体で、今回の講演は団体が主催するイベント「おむすびカルチャー」の一環として行われました。

講演では、大学の歴史や博物館の展示内容について紹介したのち、本学にて長年展示されていたキリンの骨格標本の正体が「長次郎」と名付けられた個体であることが判明した経緯や、長次郎の来歴を紹介しました。また、最新のトピックスとして、今年の1月に長次郎の骨格標本を解体した際に撮影した動画を初公開しました。

当日は現地で参加された方が25名、オンラインで参加された方が15名、合計40名が参加されました。現地で参加された方の中には近隣にお住まいの方が多くいらっしゃったため、ご自宅に眠る古いアルバムに井の頭自然文化園で撮影された長次郎の写真が残っていないか、検索をお願いして解散となりました。

講演では写真や動画での紹介となりましたが、今年度は解体された長次郎の活用に力を入れていきたいと考えています。今後の活動にもどうぞご期待ください。

(学芸員 石井)



- ① 会場の様子
- ② 博物館について紹介する様子
- ③ 2025年1月まで一号棟にて展示されていた「長次郎」の全身骨格標本。「長次郎」は、上野動物園で生まれ、井の頭自然文化園にて死亡したのち、本学で骨格標本となりました